





で我々協同に利用して、それでも農業経営の中心的な課題を解決して行かなければならないというので、先ず畜舎で、これはブロッコ建築で、立派なものを建て、おきます。

で、その次に各人の生活に、その動物に対する水を、よくしなればならないというので水道をつくる。

その次に、その子供が育つて来るから、子供達の教育について、この、托児所をつくる。

で、こういったものが、他所の地方にない規模で、いよいよか立派なものが出来て来ました。

で、そのうちに圃場から、どん／＼生産が上って来る、ようやく今年になって各人の家にとりかかっておきます。

で、住宅つもの一番最後に廻して、とも角生産して行く、所謂農業経営の基礎になるところを、これをどん／＼一つ／＼押して行ったところ、このめざましいものがあつた訳なんです。

で、恐らく日本の拓殖開拓事業の模範になるだろうと思つて、もう一つ模範は一つ手前に神立という駅に降りて来たところの開墾場ですが、青年達、おい出になるんでしたら、その開墾場は御覧になるといいと思つて、そこへ行って協同して、ど

ういうものであるのか、本当に生産しようと思つたら、どういふ風にしようと思つたら、どういふ風にしてやれば行けばいいのか、そうした土性骨が据つて来まして、あわよくば、そういった所に入つて、その土地の青年達と一緒に仕事をして見れば、そういう勉強になるだろうと思つて、おきます。

で、この前調べました所によると、ついその辺で失敗しておつて、その為に行つておつたというので、技術的にいっても、これは、相当のひらきが出来

ておきます、で、昔も失敗したといつても、それは、こゝでは失敗したのであつて、他の地方では成功しております。

豊原村で、西原百間を西原亀蔵が、日本の交換分合史で一番早い事になっておられます、それでも明治末それは大変な完成をいたしました、今も交換分合をやつておられると、殆んど豊原村に見学に来つておられるので、お話を伺つておられます。

敗は二度と繰り返さないだろうと思つた。そういつた点では青年達に失敗を恐れてはいけなくて、とつくとお話を伺つておられます。

で、そのまゝ、青年が立上らなければ、青年でない人達が立ち上らなければならぬ。

まあ青年というのは年令的のものだけでありませぬけれども、実際に今日農業をやつておられる方々が交換分合に切つておられるならば、この農業の基本線は全部変つて来るだろうと思つて、農業の行き方についても変つて来るだろうと思つておられます。

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

六、町村合併の意味するもの (政治と経済)

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。



で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。

で、先づ、この鹿島に行きました時、鹿島つてのは薩南半島つてこうある訳なんです。



▽大熊町の農業規模

で、もう一つこの農政の問題として、考えていい事なんですが、大体この町で、この一応生活出来るつてのがまず一町前後のところになる様です。で、七反になると大分むずかしいになります。あゝ農家生活が苦しくなつてくるんです。で、そうするとそれ以下の人達つてのは、どうかというと、転業をする可能性がよい。で、転業するつてのは二つの方法があるんです。もう、家も、農業を全部やめてから、他の商売に鞍がえするつていうもの。これは此処の場合五反以下になるかもしれません。一そういう耕地面積もいつて申訳ありませんが、大体それ位の土地所有者。

すると、それから上の人達つてものは、まあおやじさんが、他へ稼ぎにゆくつと、外へ出るとすると女の人は、うちで百姓をやつてゆくつと、そういう風なところで、まあ四反としまして、一丁度真中をとつて四反から七反ぐらいの人は、そういう風に所謂兼業農家になる。一そうすると、農業がそういう風に廃業される、若しくは兼業すると、この地域の農業生産が下を向いてくる。

○農業技術の指導

それを救うにはどうすればいいかつてこととなると、勿論女の人に農業技術の指導をしてゆかねばなりませんし、もう一つは農協で良い種を、苗をつくつて、それをそういう農家に持つていつてつくらせるといふこと。だから、いえし苗が本圃に移つて移されてあと、管理をあまりしなくつても、それが人並につくれるつていう様な苗を、育てていつてやることなんですね。これは農協でやると同時に、青年団の方々もお考えになつていいと思ふんです。で、青年団の事業としてそういう事をやられると、そうすると今まあ八百屋さんから苗をかつて、キューリとつて、まあ二百貫一三百貫しかとれない。で、そういう風なところへ若し青年団でつくつ

た苗が、あゝ苗を植えたところがある。もうスブの素人が七百貫とつたという事になりや、もうその苗まあ来年ももう一度という事になる訳なんです。で、そういう風な優秀なものを農協でもお考え願いたいし、また青年の方々も考えて戴きたいと思ふます。

で、そういう風に総ての物が増産される。同時に品質がととのつてくる。更に加工の段階に入ると。で、そうすれば農家はそれぞれ豊かに当然なつて来る訳なんです。

八、各戸経済と町政

で、農家が豊かになれば始めてここで滞納の問題も整理出来ますし、教育予算とか、そういう事なんかも充分豊かになる訳なんです。で、実は町長さん、先程滞納は絶対心配しなくてもいい、というお言葉でしたけれども、私は外部から来て非常に心配するものです。町長さんの為に心配するんではなくて、はたしてこの、まあ今迄滞納した分を各農家が支払うことが出来るかどうか。それで税金はこれ以上高くしないだろつと先程いいましたが(註町長が)一私は、もつと高くしていいだろつと思ひます。そうしなればこの村はきつと立直りは出来ないだろつと思ひます。一

で、そうした場合に高くするつていふ為には、その前の段階はともかく、個々の農家が豊にならなければならぬ。今、税金が高いつていふのは、要するにそれだけの収入がないから高いんであつて、それに似合う丈の収入があつたならば、それは充分はき出してゆく事が出来る訳なんです。で、人情的なものとは別といたしまして、純経済的にいつた場合、いま、とも角、高いつてことは、これに似合う丈、収入がないつてことなんです。そうすると、その収入をどういふ風に変えてゆくか、で、これが合理化への途でなければならぬ。

▽誰がやる

で、もう時間になりましたので後はいずれ機会をうるか、ないしは印刷物でお送りするという事に致し度いと思ひますが。

今迄お話ししましたことは、町全体で考えなければならぬ事であると同時に各農家の個々の方々がお考えにならなければならぬことでもあります。で、加工も生産計画も、購売も、これあ組合でも勿論やらなければならぬんですが、皆さんの農家でもそれはやらなければならぬ。

○どう加工する

で、皆さんのうちで一体加工はどういう風にするんだつていう事になるんですが、これあその為の畜産導入でなければならぬ。で、一畜産導入をなさると一たとえ鶏をお飼ひになると一そうすると、麦つて原料が腹の中を通ることによつて、肉となり卵になり、いえうそれこそ羽毛になり、そういう風に通ることによつて様々のものが加工されていく訳なんです。

び

で、そういう風な小規模な加工場を各農家に全部計画的にお持ちになつてつと、これが豚であつてよし、牛でよし、鶏であつてよし、それはその分に応じて乃至これから農協で、そういう計画がおたちになれば、それにそつてそういう事を整備して行く風にして欲しいと思ひます。

す

あつてよし、それはその分に応じて乃至これから農協で、そういう計画がおたちになれば、それにそつてそういう事を整備して行く風にして欲しいと思ひます。

○農業と経験

先程この高校(註双葉農業高校)の先生のお話をききまして、この学校の生徒達が盛に北海道へ視察にゆく、勉強にゆく。それから各地方の視察

む

にゆく、こういうとききましてなる程日本に模範的な学校だなあと思ひました。で、一私達も、まあ全体の学生を動かすには、とつてもむずかしいんで、私旅行するつて時には必ず学生をつれていつておりますが、とも角、よそを見なければ物にならないつてこと、で特に農業つてものは経験から生れてきた部分つ

○視察が大切

でもそういうふうには、今迄私がお話しした様にして、村がどんどん立直つてゐる。そういつた実例を今日まで数多く見てゐるからこれだけのことが申上れるんであつて、そうすると皆様方自身も井の中の蛙になつてこの村にそのままつきすわつていたんではいけません。

できうれば、少くとも福島県内はそれから農業だけでなくつて先程私が農家以外の人達の言葉に耳を傾けなさいつと申上げました。そういうつた客観性を持つ為には、皆さんから自身が山村を、あるいは漁村を、あるいは町を、工場をあらゆる部分を、ズーツと御覧になつてゐると、自分達が今やつてゐるところの、どこのところが、本当に無駄であるかつてところに気がつくだろつと思ひます。

○お伊勢詣で

徳川時代に、いえ、ここでもそうですが、みんなテクテク歩いてお伊勢様までお詣りに歩いていつた。お伊勢様まで一ヶ月かかつてお詣りにゆく、この道中つていふものは恐らく、たゞお詣りして帰つてきた丈ではないと思ひます。こういうふうにして歩いていくことによつて

この村の人の物の考え方、物の見方がズーツと広くなつてきた筈なんです



○文化を築いた人々

そういう、先輩が遺していつた方法つてものは、汽車が通じることによつて、やまつて終いましたけれども、それを今日皆さんが、どういう方法で、受け継いでゆくか。

○青年よ実験台に！

それを単にそのまゝうけて、いえ、あぐらをかいてるんじゃない、駄目なんです、これをどの様にこの次に展開していくか、発展させていくかという事を、これは年令の如何をとわず、皆さんの方々にお考えいただきたいと思つます

ちしき

◇マス・コミ(マス・コミュニケーション) ケーシオン) 一口に大衆通信手段。映画。演劇。ラジオ。テレビ。新聞。一般刊行物。講演。街頭放送。チラシ等

▼おしらせ

▽銃砲刀剣類等の登録について

○日本農業の将来の姿を

大野、熊町果樹研究会より大熊町果樹研究会となり発足して五週年を迎えました。会員は七〇名の多きに達し、対象果樹畑は千町歩であります。県園芸協会支部として同志的団結を計り乍ら其の活動振りは町民各位御承知の通りであります。

大熊町果樹研究会五週年を迎え

福島県園芸協会浜三郡果樹園芸学校開設について

太田 稻尾

者が新農村建設方式に採用した一つの研究課題であり一歩進んで協同管理迄ゆけば日本農業史上画期的な事と考えられます。果樹農業が日本農業に一転期を画せしめつつあるのは前述の外に今一つあります。米作りと異つて市場性が高いからです。生産物の入割以上が市場に出荷され都市の消費に投じて遠く外国迄輸送されるからです。

れも好成绩を挙げますのに新植者は甲乙差が甚だしいのは別に研究しなればなりません、良い土地を深耕して肥料作物牧草を草生として土壤を改色し、排水灌水を怠らず合理的な整枝剪定により強健な木を作り病害虫防除に注意を払えば自然に木は出き結果面積は増大し千町歩挙つて二千貫目標はさして難事でもないと思つます

学校は四月十九日開校式。引続き園芸試験場長岩垣博士の記念講演に移り、二十日学術教授に始まり年十二回季節開講するもので、学術実習を並行して行われ、入校は大熊町経済課の取扱となつております。尚参考までに概要を示せば、一、日時 四月中旬(十七日十八日)開校式記念講演

御存じですか 指導者とボスのちがひ

- 1. 全員を追い払う 2. 権威をかざす 3. 恐怖をいだかせる 4. 自己を主張する 5. 仕事をおしつける 6. あつちへゆけという 7. 失敗させて叱る 8. 一人で早合点する 9. 酷使する 10. 上に立ちたがる



◇お忙がしい、そして何かしら生き生きとした時節になりました。町民八千。お互に元気で、生産に励まれます様に折念いたしました。◇本特輯号は読みにくく編輯と存じますが、あいて発刊いたしました。お仕事のおりおり御家族。御近隣、じっくりお読みいただき、お話し合いたただきましたら幸甚であります。

りんご